

時代が求めるスマートオペレーション
いま、すべての映像ビジネスをつなぐ架橋に。
ブリッジ

Media Bridge

ライブ配信とファイル収録・制作、機器／コンテンツ管理までがひとつに。 映像業務のテレワーク化を実現する統合型クラウドソリューション。

IoTクラウドプラットフォームMedia Bridgeは、すでに放送市場にて運用実績のあるクラウドソリューションをベースに、ビジネス、教育など映像を取り扱うすべての業界へ用途を広げました。カメラレコーダー、リモートカメラ、スマートフォンからの映像（ストリーミング、ファイル）をクラウド上で統合管理し、編集といった制作業務や配信業務などヘシームレスに繋がります。さらに撮影機材の状態監視や制御まで可能にします*。ユーザー環境に柔軟に適合し、すぐれた即時性とコスト性を提供。映像共有や管理、配信や制作といったユーザーのワークフローにイノベーションをもたらします。

※撮影端末により可能な機能は異なります。また一部の機能はソフトウェアのバージョンアップで将来対応予定。



Media

Remote Control

クラウドから撮影機材を統合管理・制御

複数のカメラをクラウド上で一括管理でき、YouTube、Facebookなどへのストリーミング配信の一元管理も可能です。撮影機材のステータス（機器状態・位置情報など）の確認、配信先指定からストリーミング開始・停止、クラウド収録/ストリーミング収録*1 がリモート操作可能です。

Smart Operation

多彩なカメラ／スマートフォン*2をメディアレスに利用

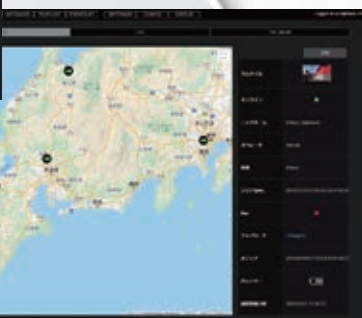
パナソニックのカメラレコーダー、リモートカメラ、または他社製ネットワーク対応カメラ*1、そしてスマートフォン（iPhone）などの多種多彩なカメラからの映像をクラウドにて自動収集管理し、フォーマットに依存しないメディアレスな運用が可能です。

On Time

ライブ収録*1、ニアライブ転送で即時かつ高画質の映像制作

ライブ配信／収録以外にも、対応カメラレコーダー*2、スマートフォンから、収録中のファイル自動転送（アップロード）が可能です。撮影をとめることなく、撮影中の映像を確認・使用でき、生中継に近い映像制作が高画質な映像で可能です。





Bridge



High Quality

放送業務にも対応する高画質対応

クラウド運用可能な軽量フォーマットから放送・業務用で使用される高画質P2フォーマット（MXF）や4Kまで対応、放送や映像制作に応えます。ファイル転送時^{※3}は、両方のフォーマットを保持することができ、クラウド運用では軽量フォーマット、映像制作には高画質映像でといった、用途に合わせた使い分けが可能です。

On Line

ユーザー環境に合わせた柔軟なシステム構築が可能

一般回線と標準ブラウザがあれば運用開始が可能。クラウドサーバーはAWS（Amazon Web Services）だけではなく、プライベートネットワーク環境でも構築でき（オンプレミス対応）、ユーザー環境に応じて柔軟な運用が可能です。

Reliable

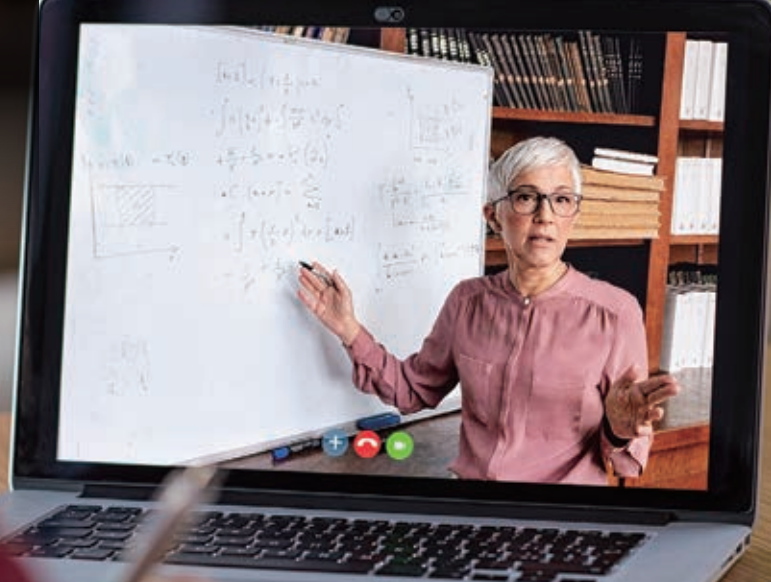
5年間の安定運用実績

現在放送市場向けに運用するクラウドシステムは、国内／海外放送局で5年の安定運用実績があり、Media Bridgeはその放送用システムをベースに構築されています。映像を扱うすべての業界で、毎日の業務をサポートする高い信頼性と安定性を提供します。

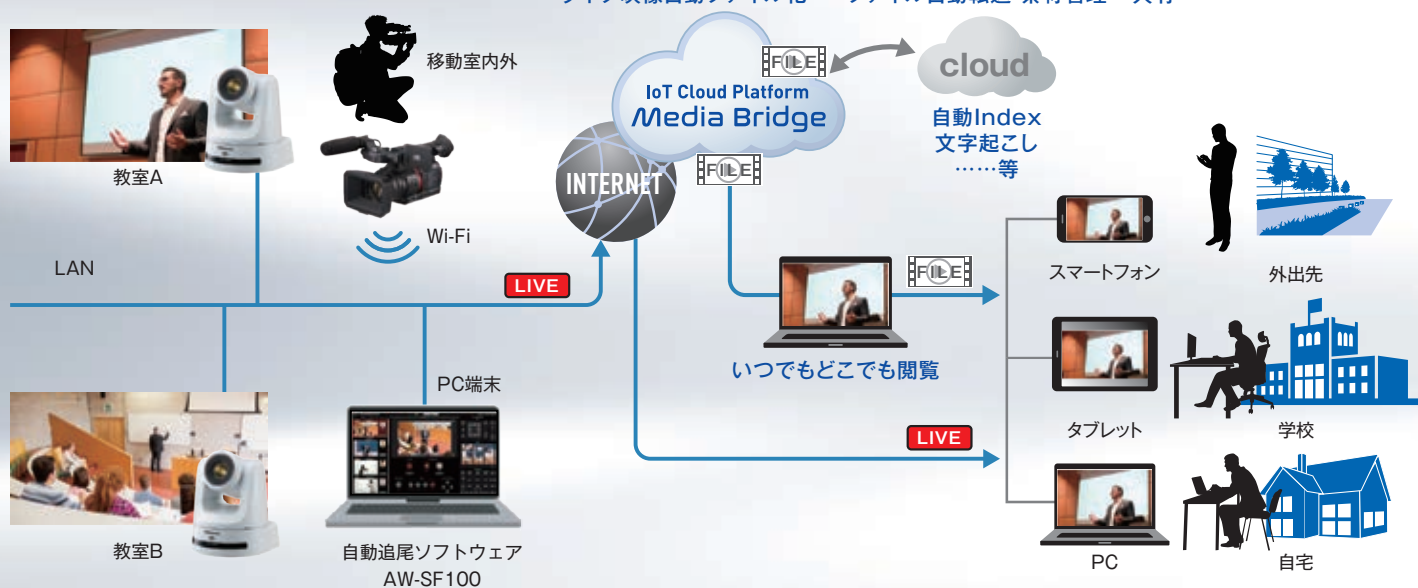
※ 1: ソフトウェアのバージョンアップで将来対応予定。 ※ 2: 最新の対応カメラについては当社webサイト (https://panasonic.biz/cns/sav/products/media_bridge/index.html) をご覧ください。
※ 3: 撮影端末により可能な機能は異なります。



Education



ライブ映像自動ファイル化^{*1}・ファイル自動転送・素材管理・共有



カメラからのLIVE配信先はMedia Bridgeもしくはインターネット経由のどちらかになります。

講義を簡単に収録^{*1}、配信、コンテンツの一括管理を実現、
場所にとらわれない受講、時間にとらわれない環境を提供します。

リアルな授業を、そのまま高画質 オンライン授業にも提供

🗨️ お客様のお困りごと

- ネット配信を用いたオンライン授業を導入したいが、導入・運用のノウハウがない。
- 先生・講師も遠隔地から時間と場所に制約されずに授業がしたい。

🏠 ソリューション

自宅やリモートオフィスなどの遠隔地から簡単に各教室に設置したリモートカメラなどの映像機器をオンライン上で一元管理／制御可能です。また、校外学習においてもカメラレコーダーまたはスマートフォン^{*2}を用いて簡単に運用できます。

時間と場所に制約されない 自習・自学にも最適な授業収録^{*1}

🗨️ お客様のお困りごと

- 教室に来ることができない学生も授業に参加させたい。
- 必要な授業を必要ときに、いつでもどこでも視聴したい。

🏠 ソリューション

クラウド上で高画質な授業映像の管理を行うことで、生徒が時間と場所の制約から解放され、授業を視聴できます。また、標準ブラウザ上で閲覧できるため、タブレットなどの様々なデバイスで授業をはじめとした映像コンテンツを視聴でき、復習や予習に用いることも可能です。

撮影機材／コンテンツの 一元管理により運用を軽減

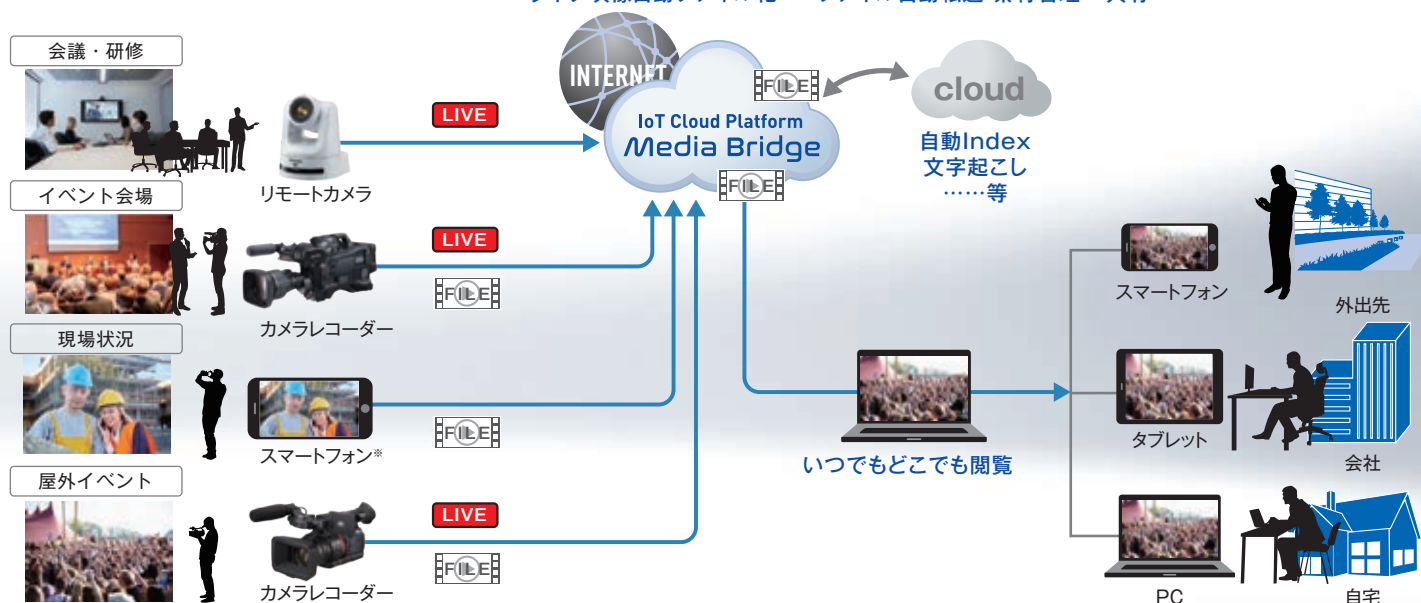
🗨️ お客様のお困りごと

- 教室ごとに設置された撮影機材の設定や状態監視・維持管理の労力を軽減したい。
- 配信だけでなく、授業を含むさまざまな映像コンテンツをまとめて管理したい。

🏠 ソリューション

撮影機材の操作、状態監視、維持管理^{*3}をはじめ、リモートで映像コンテンツを一元管理し、運用の手間を大幅に削減可能です。学内サーバーを用いた運用により、プライバシー情報も厳守できます。

ライブ映像自動ファイル化^{*1}・ファイル自動転送・素材管理・共有



※スマートフォンには専用アプリMedia Bridge Mobileのインストールが必要です。

会議やセミナーの映像収録^{*1}、管理、配信をサポート。 現場映像のリアルタイムな情報共有も容易に行えます。

会議映像や現場の状況を リアルタイムで把握

🔗 お客様のお困りごと

- 会議、セミナー等の現場映像を、時間や場所
に制約されることなく確認したい。
- 複数人で現場映像共有をしたい。

🔗 ソリューション

リアルタイムにクラウド上に蓄積された映像コンテンツをチームで共有でき、スマートフォンやタブレット等でいつでも閲覧できます。また、文字起こしシステム^{*4}等をはじめとしたアプリケーションとの連携により高効率な運用をサポートし、議事録作成や現場の作業支援等にかかる工数を大幅に削減します。クラウド運用がもたらす機材とオペレーションの軽減によって、トータルなコスト削減が図れます。

簡単な映像のコンテンツ化

🔗 お客様のお困りごと

- 頻繁に行われる会議やセミナー、社内研修等の映像を簡単にコンテンツ化したい。
- 時間とコストをかけずに撮影・編集・メディア(DVDなど)配布・管理(保存・検索)したい。

🔗 ソリューション

カレンダー検索機能^{*5}も搭載しているため過去会議やセミナー映像も簡単に検索できます。また、WEBブラウザでアクセスできるため、拠点ごとの映像管理やユーザー環境に応じた柔軟なシステム構成で導入でき、充実したサポートを提供します。また、クラウドがバックアップとなることで信頼性も向上します。これらは、ワンマンオペレーションで可能なシーンを大きく拡げます。

用途に応じた 映像収集配信システムを提供

🔗 お客様のお困りごと

- ネットワーク環境が厳しい緊急時や災害時においても安定した映像配信を行いたい。
- 手持ちのスマートフォンで撮影したい。
- 撮影者の場所を把握したい

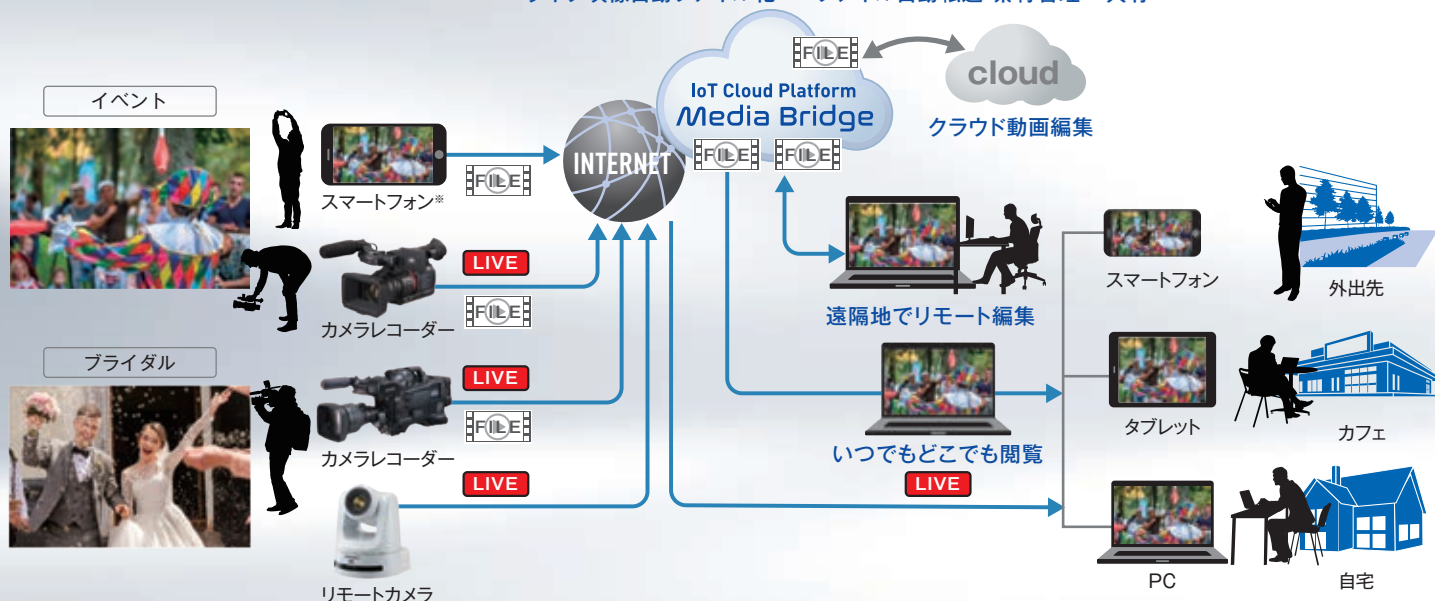
🔗 ソリューション

ライブが厳しいネットワーク環境下においても、カメラのニアライブ機能によって、安定した映像転送が行えます。また、スマートフォンに専用アプリケーションをインストールすることで、Media Bridgeへ手軽に撮影した映像を転送できます。さらに、GPS情報によるカメラ位置をマップ表示でき、撮影者の場所も把握できます。

※1:ソフトウェアのバージョンアップで将来対応予定。※2:最新の対応カメラについては当社webサイト(https://panasonic.biz/cns/sav/products/media_bridge/index.html)をご参照ください。※3:対応撮影機材により対応に違いがあります。※4:有償カスタマイズオプション。※5:コンテンツ保存期間は最大365日です。保存期間内からコンテンツが検索されます。

Event

ライブ映像自動ファイル化^{*1}・ファイル自動転送・素材管理・共有



※スマートフォンには専用アプリMedia Bridge Mobileのインストールが必要です。

カメラからのLIVE配信先はMedia Bridgeもしくはインターネット経由のどちらかになります。

撮影から配信までワンストップオペレーションでフルサポート。 スタッフの省力化、高効率な運用を実現。

簡単オペレート 低コストを実現

☎ お客様のお困りごと

- 映像撮影だけでなく、配信とコンテンツ管理も含めて簡単に運用したい。
- 少人数、低コストでイベント運用したい。

🔧 ソリューション

撮影中に素材を自動アップロードすることができ、カメラマンは映像アップロード作業を気にすることなく、撮影に専念できます。文字起こし^{*2}、シーン検索、ダイジェスト編集といった省力化ソリューションにも直結します。また、クラウドがバックアップとなることで信頼性も向上させることもでき、ワンマンオペレーションで可能なシーンを大きく広げ、高画質の映像制作をスピーディーに運用できます。

複数スタッフで素材共有と編集、 カメラの遠隔管理が可能

☎ お客様のお困りごと

- 現地に行くことなく遠隔地からオペレート、編集を行い機材運搬費や移動費を削減したい。
- 限られた予算と人数で複数のイベントを容易に運用したい。

🔧 ソリューション

撮影しながらプロキシ（低ビットレート）クリップをクラウドに順次自動アップロード。リモート編集を遠隔地で進めることができ、時間と労力を大幅に削減し、働き方改革に貢献します。ノートPC / タブレット等から複数のスタッフが即座にアクセス可能。プレビュー、ダウンロード、削除、データ登録等各機能へのアクセス権は、スタッフごと、グループごとなど細かく登録でき、安全な管理が可能です。

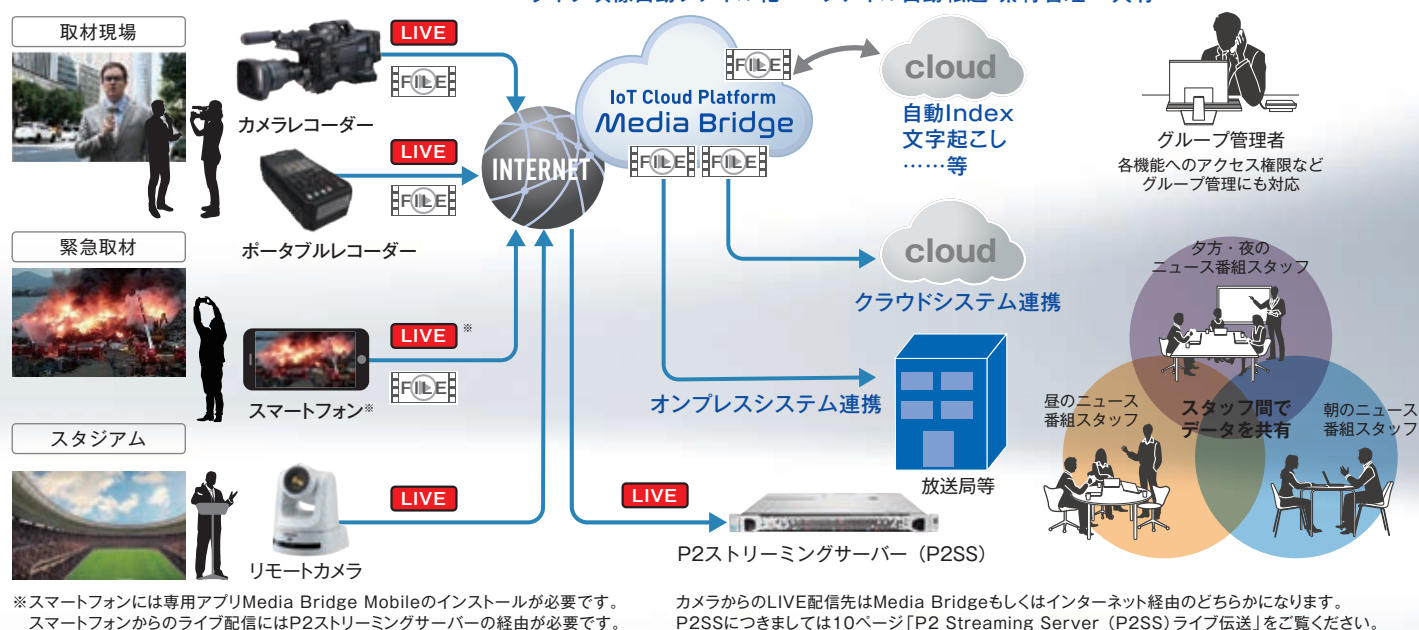
用途に応じた 映像収集配信システムを提供

☎ お客様のお困りごと

- 複数拠点の多数のカメラ映像を手軽に配信したい。
- 安定した映像配信を行いたい。

🔧 ソリューション

Media Bridgeの機器管理機能によって、接続カメラの一元管理ができ、ストリーミング制御(配信先指定・開始/停止)をWEBブラウザから簡単にできます。厳しいネットワーク環境下においても、カメラのニアライブ機能によって、安定した映像転送が行えます。

ライブ映像自動ファイル化^{※1}・ファイル自動転送・素材管理・共有

取材現場とニュースルームを直結。編集・管理のリモートワークで コスト削減とオペレーションの効率化を実現。

限られた予算とスタッフで オペレーション可能

🔗 お客様のお困りごと

- 災害時などの緊急事態のとき、少ないスタッフですぐに現場に向かい運用したい。
- 報道スタッフ自らが取材から編集までワンマンオペレートしたい。

🔧 ソリューション

撮影しながらプロキシ（低ビットレート）クリップをクラウドに順次自動アップロード。その現場映像に、ニュースルームほかクラウドに接続した複数スタッフが即座にアクセス。生中継に近い即時性の高いニュース報道が可能です。スマートフォン撮影にも対応しており、フレキシブルなニュース制作が可能。報道スタッフに時間と場所に縛られないワークスタイルを提供します。

現場状況に応じた映像収集、 配信システムの構築

🔗 お客様のお困りごと

- 撮影場所や中継先ごとのカメラの設定や管理を簡単にしたい。
- さまざまなメディア／フォーマットの映像コンテンツを管理したい。

🔧 ソリューション

WEBブラウザで映像が確認でき、本局・支局・現場でコンテンツ共有が容易です。場所、日時など標準メタデータだけでなく局独自のメタデータ^{※2}を登録して必要なコンテンツを容易に検索することができます。また、自動コンテンツマネージメントにより、フォーマットにかかわらずすべてのコンテンツが一元管理でき、効率の良い再利用が可能になります。

中継車いらず 簡単に運用可能

🔗 お客様のお困りごと

- 中継車を使わず、少人数でコストをかけることなく中継したい。
- 場所に制約されることなく、安定した現場映像を中継したい。

🔧 ソリューション

インターネット回線を用いるため、カメラ機材からダイレクトにストリーミング^{※1}／ファイル転送されるので、中継車を使うことなく、運用が可能です。機材は全てリモート接続され、機材名、スタッフ名ごとに収録コンテンツとともに管理され、クラウド上で一元監視が可能となります。また、撮影機材の地点の地図表示も可能で、緊急時の取材にも敏速に対応できます。

※1:ソフトウェアのバージョンアップで将来対応予定。※2:有償カスタマイズオプション。

多彩なカメラからストリーミング&アップロード クラウドでコンテンツ管理/共有、カメラの遠隔管理



01 カメラ監視とストリーミング制御

パナソニックのカメラ（カメラレコーダー、リモートカメラ）※1とスマートフォン用アプリでは、高画質・低ビットレートのH.264/HEVCコーデック、回線状況の変化にも安定したリアルタイム伝送を続けるQoS（Quality of Service）モードなど、多彩なストリーミングが可能です。また、ワイヤレスLAN、有線LAN、4G/LTE、5Gなどネットワーク環境に応じた接続方法を柔軟に選択できます。Media Bridgeはこれらのカメラを一元監視しリモート配信制御可能です。

02 複数カメラの一括監視/管理

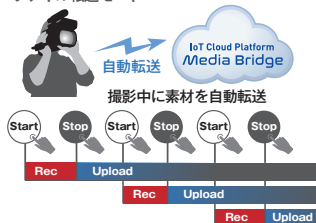
クラウドにて接続された対応カメラ※1は個別認証され、状態を一括監視可能です。また位置情報からの地図表示※2やメタデータ（日時・撮影者・撮影場所などの情報）の遠隔登録、カメラ設定（メニュー設定）の遠隔変更、ファームウェアのリモートアップデートなどが可能です。



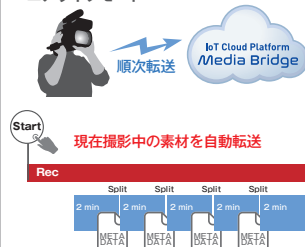
03 ファイル自動転送機能

パナソニックP2/CXカメラレコーダー※1とスマートフォン用アプリはストリーミングに加えてファイル転送をサポート。通信状況によって伝送画質が左右されない安定した高画質が保証され、万が一の通信障害時も再送可能です。また、撮影中の素材自動転送に加えて、ライブ配信に近い現在撮影中の素材を自動転送するニアライブモードを装備、撮影中の映像をWebブラウザで閲覧可能です。

ファイル転送モード



ニアライブモード



04 スマートフォンカメラでも自動伝送

メタデータ記録や、撮影中の素材を送るニアライブ機能といったパナソニックカメラと同様の機能※3をもつ、スマートフォンアプリP2 Cast Media Bridge Mobile（iOS）※を提供。スマートフォンを活用することで撮影の幅が大きく広がります。

※P2 Cast Media Bridge Mobileの動作環境については、App Store（<https://apps.apple.com/jp/app/id1516744602>）をご覧ください。



Media Bridge

リモートワークによる配信・編集



- 07 オンプレミスサーバー対応
- 08 映像素材の自動蓄積/管理
- 09 高画質な映像
- 10 安全性の高いネットワークとセキュリティ
- 11 標準Webブラウザでのアクセス

さまざまな視聴環境に対応



PCでの視聴と共有 携帯端末での視聴 大型スクリーン

オンプレミス（リモートオフィス）



12 編集・制作システム連携



QoSライブ・ストリーミング

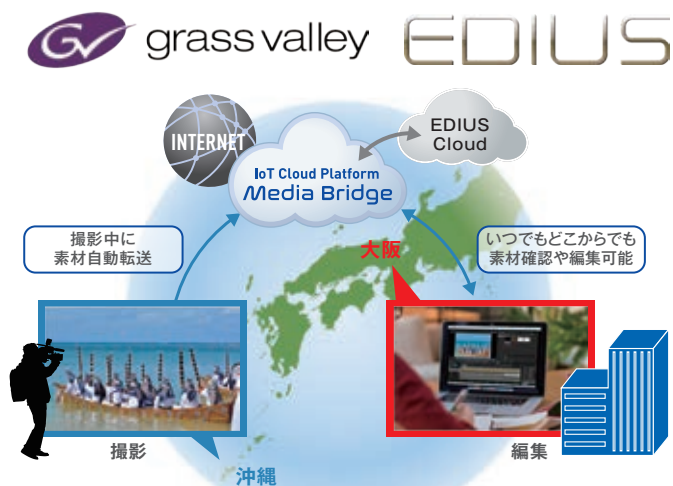
13 P2 Streaming Server (P2SS) ライブ伝送



ストリーミングレシーバーサーバーキット
AJ-SRK001G (ソフトウェアキー)

05 クラウド上で編集まで完了

AWS (Amazon Web Services) 上でEDIUS Cloud (Grass Valley 社) *4とシームレスに連携します。Media Bridgeに転送された映像素材をダウンロードすることなく、EDIUS Cloud上で即座に編集を開始可能です。ライブ記録やニアライブモードであれば撮影中の素材編集を開始することも可能です。インターネット接続可能なPCがあれば、いつでもどこからでも編集を行うことが可能になります。



06 AI連携による機能拡張に対応

パナソニックが提供する自動音声認識・文字起こしサービスP-VoT (ピーボット) *4と連携し、撮影素材から高速・高精度な自動文字起こしが可能です。Media Bridgeはクラウド連携により、自動インデックス、ダイジェスト作成など、さまざまなAIを用いた機能拡張や機能連携を予定しています。

※詳細は当社webサイト (<https://pvot.jpn.panasonic.com/>) をご覧ください。



※1: 対応カメラ/カメラ対応機能については当社webサイト (https://panasonic.biz/cns/sav/products/media_bridge/index.html) をご参照ください。
 ※2: GPS機能付きカメラレコーダー (AJ-PX5100GJ/AJ-PX270T8) の場合。 ※3: Dual記録には対応していません ※4: 別途契約が必要です。

標準 Web ブラウザでアクセス

撮影機材の状態監視／制御から映像収録※¹蓄積、閲覧／共有が可能。

メニューバー

ホーム画面、ユーザー一覧画面など、画面全体の機能を切り換えるタブ。

ショットリスト

P2/CXカメラレコーダー※²、スマートフォン※²から自動アップロードされたショットやリモートカメラなどからのストリーミング記録※¹されたショットがここに一覧表示されます。クリック／タップで選択し、プレビュー／ハイライト編集※³が可能です。

ショットリストメニュー

ショット数の表示と、検索、ダウンロードなどの操作ボタン。



Media Bridge Web ブラウザ・HOME

07 オンプレミスサーバー対応

Media BridgeはAWS環境以外にも、オンプレミスサーバーへの導入も可能です。ユーザーが管理するネットワークシステム上のセキュアな環境に構築するなど、要求に応じた柔軟な構築が可能です。

08 映像素材の自動蓄積／管理

カメラから自動転送された映像素材はMedia Bridgeで管理され、グループ共有／配信（閲覧）が可能です。また、ストリーミング記録※¹に対応し、ストリーミング機能をもつ機材からの映像も同様に一元管理可能です。蓄積時、撮影日時以外も、撮影場所、撮影者などの追加情報も同時に登録し、容易に検索可能。複数スタッフによるオペレーションや配信・編集・アーカイブ作業へスムーズに連携します。

09 高画質な映像

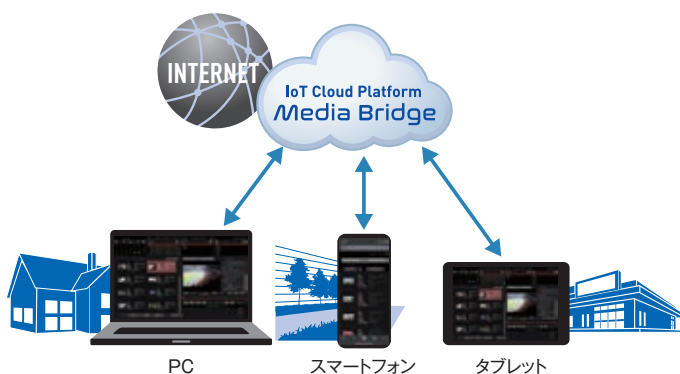
高画質HD (P2 MXF)／4K MOVファイル転送などに対応※³、放送・業務用映像制作用途に応えます。PXシリーズカメラレコーダー※²ではIN点／OUT点を指定しての指定部分切り出し転送に対応することで、素材転送の時間を大幅に短縮しています。CXシリーズカメラレコーダー※²では5G環境を見据え、4Kまで含めたハイレゾ直接転送※¹をサポートしており、撮影から制作までを、より高速に繋ぎます。

10 安全性の高いネットワークとセキュリティ

一般回線を用いるため、安全性の高い転送方式 (HTTPS/SFTP/RTMP) をサポートするとともに、スタッフごとにプレビュー・ダウンロード・削除・登録などの各機能へのアクセス権限を細かく付与することが可能です。また自社クラウド環境での構築が可能のため、より高いセキュリティを確保可能です。

11 標準 Web ブラウザでのアクセス

Media Bridgeはインターネットに接続された端末さえあれば標準 Web ブラウザを用いて時間・場所の制限なくアクセス可能です。スマートフォンからはスマートフォン用にカスタマイズされた画面での閲覧が可能です。転送素材の複数スタッフによる同時使用もサポートしています。



Media Bridge

ログイン／ログアウト
登録されたユーザーアカウントでログインすると、この画面を表示。

検索ペイン
ショットの絞り込み検索。「作成日／メディア／グループ／登録者」で絞り込んだショットを左のショットリストに表示します。

プレビュー／ハイライト編集
選択したショットの再生とメタデータ／テキストメモの表示、対応機器^{※2}からの素材ではハイライト編集が可能。編集で作成したサブショットをアイテムボックスに追加できます。

プレイリスト作成
作成したサブショットをつないでプレイリストを保存・編集。P2カメラレコーダー^{※2}からハイレゾデータを転送することが可能です。

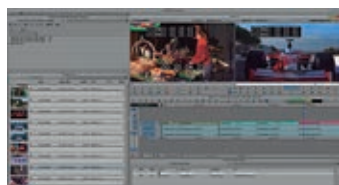
12 編集・制作システム連携

サポートソフトウェアにより、ノンリニア編集機、ニュースオートメーションシステム、メディアアセットマネジメントシステム等とシームレスに連携可能です。^{※4} 現行のワークフローを変えずに撮影から制作までの業務をアップデートします。また、より多くのシステムに対応を拡げるため、Media Bridge連携API (SDK)^{※4}を提供しており、連携ソフトウェア開発をスムーズに行うことが可能です。

開発済連携ソフトウェア



Adobe Premiere Pro(+P2 Cast Bridge)
ソフトウェア画面例

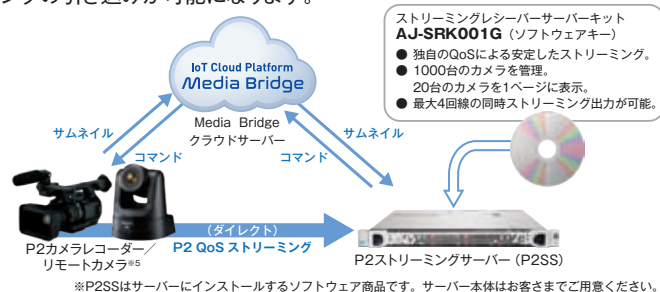


Avid Media Composer(+P2 Cast Bridge)
ソフトウェア画面例

※1：ソフトウェアのバージョンアップで将来対応予定。 ※2：対応カメラ／カメラ対応機能については当社webサイト(https://panasonic.biz/cns/sav/products/media_bridge/index.html)をご参照ください。 ※3：対応撮影機材により対応に違いがあります。 ※4：連携ソフトウェア、連携APIについての詳細は担当営業までお問合せください。 ※5：P2SSにつきましては当社webサイト(https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/Jp/jp2main/stream_server_j.htm)をご参照ください。

13 P2 Streaming Server (P2SS)^{※5} ライブ伝送

P2ストリーミングサーバーソフトウェア(Windows専用)を使用することで、対応機器^{※5}からのストリーミング映像をSDIもしくはRTMPストリーミングへ変換することが可能です。P2SSは単体でも使用可ですが、Media Bridgeと併用することで、インターネット経由での局内へのストリーミングの引き込みが可能になります。



P2 Streaming Server ソフトウェア画面例

⚠ 安全に関するご注意

●ご使用の際は、取扱説明書、工事説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してご使用ください。

●水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

その他の付記事項

※ネットワーク機能を使用する際のご注意

●5G/4G/LTE接続には通信キャリアが提供する通信データカード(USB接続タイプ)が必要です。詳細はWEBサイト<<https://panasonic.biz/cns/sav/p2/server/4glte.html>>をご参照ください。●ワイヤレスLAN接続にはワイヤレスモジュールが必要です。●無線LANによるワイヤレス接続に対応するタブレット端末対応のOS/ブラウザ、スマートフォンについては、WEBサイト<<https://panasonic.biz/cns/sav/>>「サポート&ダウンロード」をご参照ください。端末の種類によりサポートされない機能があります。●ストリーミング送出は指定サーバー(1箇所)への転送のみ可能です。ストリーミング時プロキシ映像の記録はできません。デュアルコーデック記録、サイマル記録、レックデュアルアップロード機能と同時に使用できません。ビデオストリーミング対応のアプリケーションソフトのダウンロードや動作環境については、WEBサイト<<https://panasonic.biz/cns/sav/>>「サポート&ダウンロード」をご覧ください。●ストリーミングを行うには、Public IP(Global IP)を持たせるなど、4G/LTE USBモデム、パソコン双方が直接アクセスできる設定にする必要があります。Public IP(Global IP)取得については、各通信キャリアにお問い合わせください。●P2ブラウザを用いてストリーミング映像を表示するには、Windows PCではVLC MEDIA PLAYER、MacではQuickTime Playerが必要です。●QoSモードの受信には無償提供されるソフトウェアP2 Streaming Receiver(Win用のみ、Mac非対応)が必要です。詳細はWEBサイト<<https://panasonic.biz/cns/sav/download/>>をご参照ください。●LiveU/TVU Networksのボンディング接続サービスを使用したネットワーク接続にはLiveU、TVU Networks両社が提供する通信デバイスが必要です。詳細はWEBサイト<https://panasonic.biz/cns/sav/p2/bonding_devices/index.html>「接続確認済みボンディング機器」をご参照ください。

●“P2”ロゴはパナソニック株式会社の商標です。●Mac、iPhone、iPad、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米Apple Inc.の登録商標または商標です。●App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。●Adobe、Adobeロゴ、Premiere Proは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。●Avid、Avid ロゴ、Media Composer は、米国その他の国またはそのいずれかの Avid Technology, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。●AWS(Amazon Web Services)は、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。●EDIUSクラウドはGrass Valley社の登録商標です。●Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●このカタログに記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。

eco ideas

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

詳しくはホームページで
panasonic.com/jp/sustainability



省エネ

省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。

省資源

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質^{*}の使用を規制するEU RoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。※鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、特定臭素系難燃剤、特定フタル酸エステル

商品・システム情報を載せた
ホームページです。
ぜひ一度ご覧ください。
panasonic.biz/cns/sav



■当社製品のお買い物・取扱方法・その他ご不明な点は下記にご相談ください。

パナソニック
放送・業務用映像システム
サポートセンター



0120-872-233

携帯電話・PHSからも
ご利用いただけます。

受付時間：月～金(祝日と弊社休業日を除く)
9:00～17:30(12:00～13:00は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは panasonic.biz/cns/sav/support/

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●お問い合わせは…

パナソニック株式会社
コネクティッドソリューションズ社
〒571-8503
大阪府門真市松葉町2番15号

このカタログの内容についてのお問い合わせは、
左記にご相談ください。
または、パナソニックシステムお客様ご相談センターに
おたずねください。

このカタログの記載内容は
2020年10月現在のものです。

AJ-JJCMB 020-ZW-PB1

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
●本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。